

甲状腺超音波検査結果報告

ろっこう医療生活協同組合
小児甲状腺超音波コントロール調査担当
谷口敏光

この度は 小児甲状腺超音波検査コントロール調査にご協力いただき、まことにありがとうございます。この短期間に、100名近いお申し出をいただき、データを積み重ねてきました。なにぶん、小児の甲状腺超音波像が、成長とともにどのように移り変わっていくのかという概念がない中で、出来る限り丁寧に観察し、所見を残すように努めてきました。

国がこれから進めようとしているコントロール調査は今後半年以上かけて、全国で数千のデータを集積しようとしています。それを待たずに、福島中央市民医療生協の要請にこたえるべく、規模こそ小さいながら、今もこれからも向きあっていかなければいけない現場の課題に、少なからず力になれるデータを提供できそうに思います。早急にまとめ作業に取り組んでいきます。

福島ではこれまでの超音波検査の結果がえしの様式に対する不安不満が高まっています。今回、コントロール調査とはいえ、みなさんお一人お一人にとっては、重要かつ、福島でなくても気になる事項だと思います。ましてや、「正常」「異常」の概念が明確ではない小児甲状腺超音波検査所見であるがゆえに、できるだけ、ありのままの結果として、みなさんの手元においていただけるように、今回の個人結果返しをさせていただきます。

今回、福島と同様程度に、水のたまった袋状の「のう胞」が少なからず認められましたが、基本的には成長過程の「正常異型」という考えで、問題ないものと判断させていただきました。

もちろん今後の見解がさらに明らかになってくることで、この判断に修正が必要な場合は、あらためてフォローアップ調査を実施したいと考えます。

なお、検査の画像データは、実施された診療所に残しております。閲覧や説明、貸出しが必要であればいつでもお申し出ください。

様

検査実施日

所見 所見なし ・ 甲状腺のう胞 ・ 甲状腺結節

甲状腺のイラスト正面像と
のう胞など所見とサイズを手書きで記載

判定： 放置可 ・ 要観察(年後再検) ・ 要精査